

国際総合フレートフォワーダーをめざす



個人投資家様 向け
会社説明会

2012年 3月 3日



 内外トランスライン株式会社

銘柄コード 9384 (東証二部)

このたびの東日本大震災により被災された方々
には心よりお見舞い申し上げます。
皆様の一刻も早い復旧、復興をお祈りいたしま
す。

内外トランスライン株式会社
代表取締役社長 戸田 徹

I. 会社概要



1. 会社概要
2. 沿革
3. 成長の歩み
4. 経営理念、企業ビジョン

外航海運利用運送業 (NVOCC)

Non-Vessel Operating Common Carrier

わたしたちは、お客さまに**最適・最速の輸送サービス**を提供する国際海上輸送の**プロ**です。

NVOCCとは

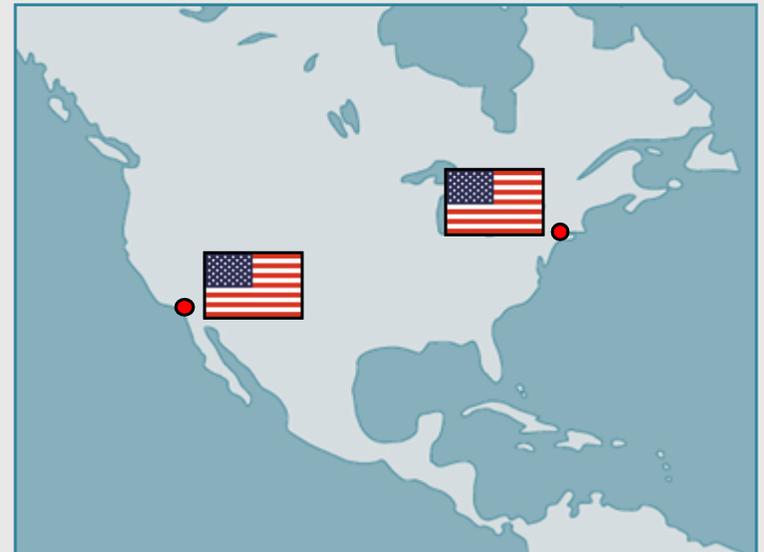
船舶を所有せず、船会社のスペース（船腹）を借りて利用し、お客さまの貨物を海上輸送する事業者を指します。

会社概要

社名	内外トランスライン株式会社
設立	1980年5月1日
代表取締役社長	戸田 徹
本社所在地	大阪府中央区安土町3丁目5番12号
資本金	2億2,258万円（2011年12月末現在）
従業員数	429人（連結 2011年12月末現在）
事業内容	外航海運利用運送事業（国土交通省: 運貨326・123号） 海空陸複合一貫輸送 輸入貨物取扱業 陸上運送取次業 海運代理店業 損害保険代理店業
銘柄コード	9384（東証二部）

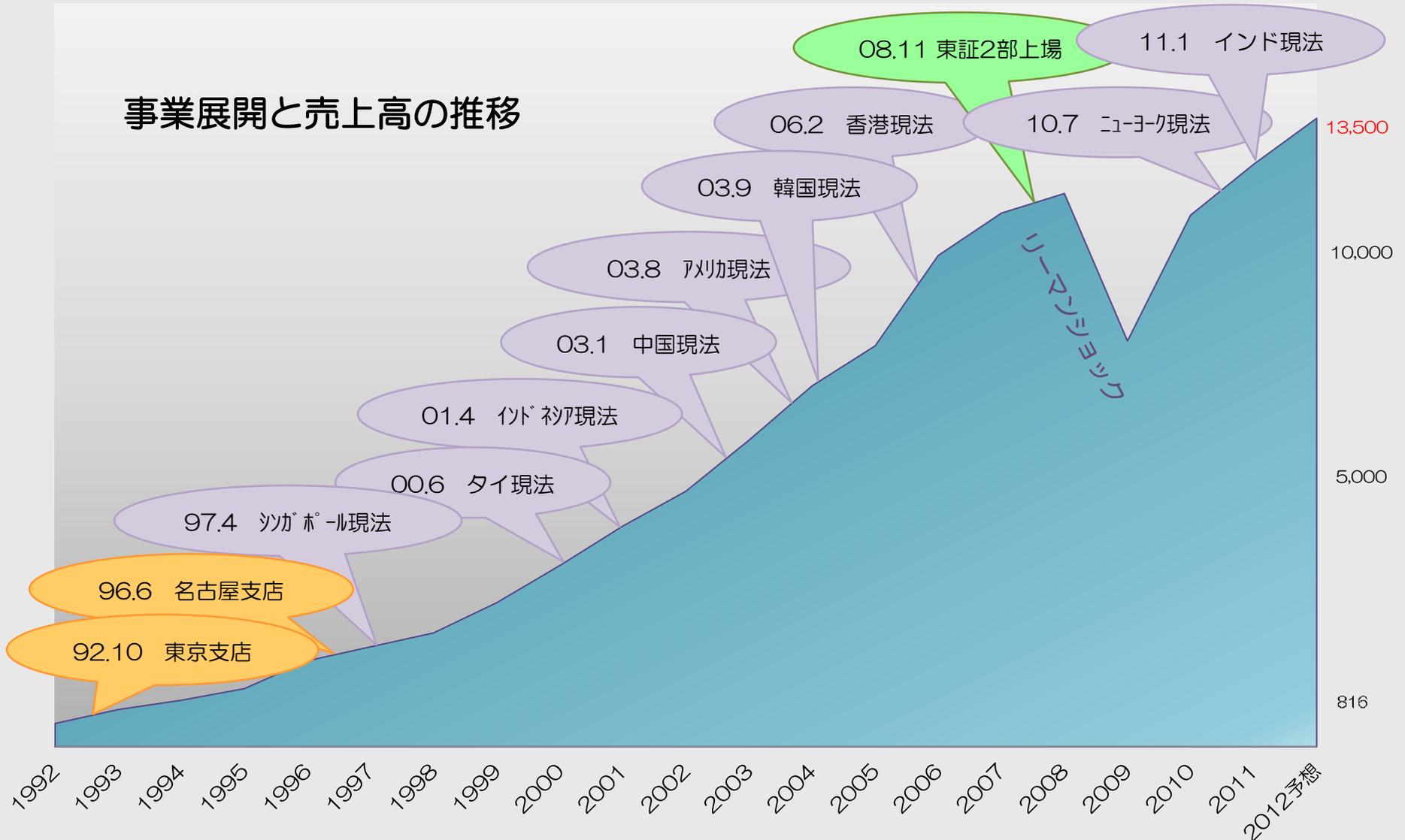
会社の沿革

1980年5月	「内外 SHIPPING 株式会社」設立
86年12月	現社名に商号変更
90年11月	神戸営業所（現神戸支店）を開設
91年12月	第一種利用運送事業(外航海運)許可
92年10月	東京営業所(現東京支店)を開設
96年06月	名古屋営業所(現名古屋支店)を開設
97年04月	シンガポールに現地法人設立
98年08月	横浜営業所(現横浜支店)を開設
99年09月	九州営業所(現門司事務所)を開設
2000年4月	福岡営業所を開設
00年06月	タイに現地法人設立
01年04月	インドネシアに現地法人設立
03年01月	中国に現地法人設立
03年08月	アメリカに現地法人設立
03年09月	韓国に現地法人設立
04年06月	広島営業所を開設
06年02月	香港に現地法人設立
08年11月	東京証券取引所市場第二部に上場
09年02月	中国現地法人 大連支店開設
09年10月	国内子会社「グローバルマリタイム株式会社」設立
10年02月	中国現地法人 広州支店開設
10年05月	会社設立30周年
10年07月	米国New York州、Cargo One社を買収
11年01月	インド LPI社買収



当社成長の歩み

事業展開と売上高の推移



経営理念

私たちは国際貨物輸送事業において、相互扶助の精神とお客さま第一主義を貫き、より質の高いサービスを提供し、安全、確実な輸送を世界に提供してゆきます。

企業ビジョン

- ・ ベストな物流商品とサービスを提供し、心のこもったコミュニケーションを大切にする企業
- ・ 健全な組織と高い生産性を持ち、成長を続ける企業
- ・ 働く者すべてが互いに高め合い、生き生きと仕事をし、未来の更なる豊かさを追求する企業

Ⅱ. 事業内容



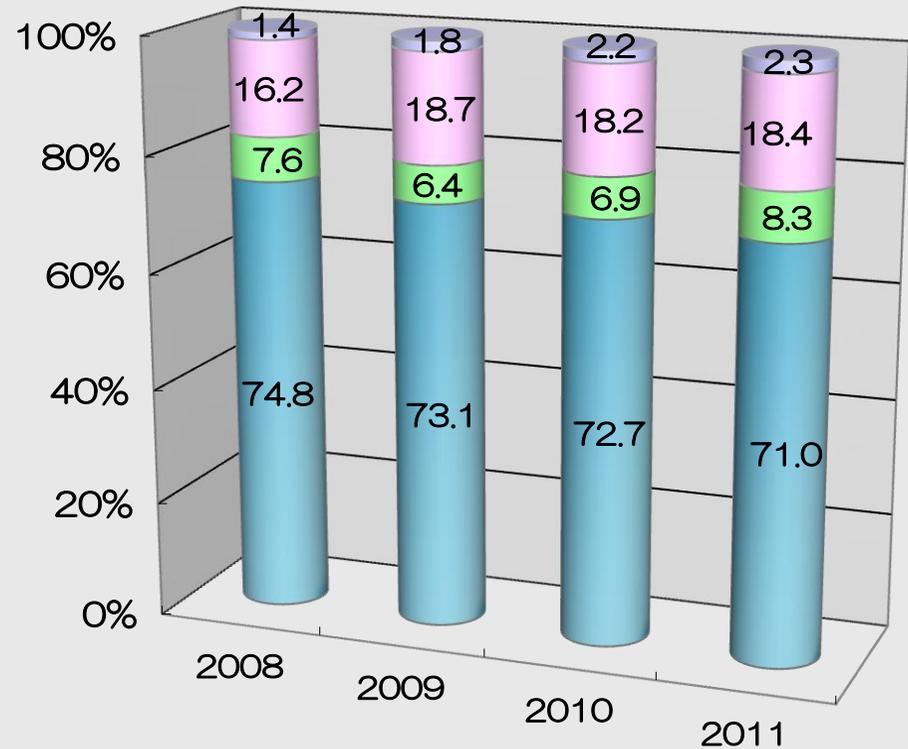
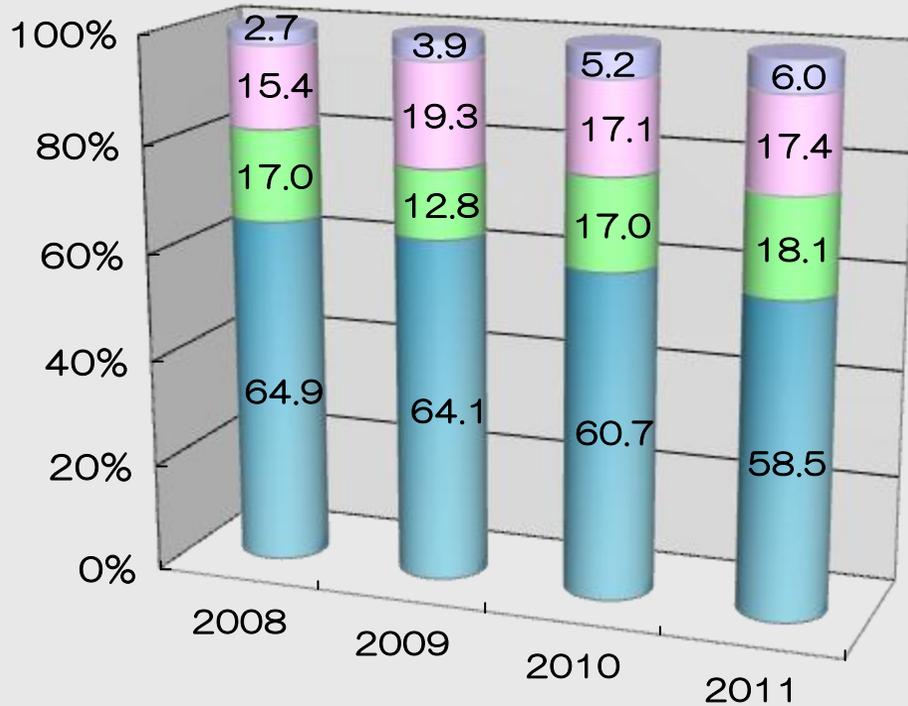
1. 当社事業の中核
2. 混載輸送とフルコンテナ輸送
3. 当社事業の特長

当社の核となる事業は輸出混載輸送

●売上高

●売上総利益

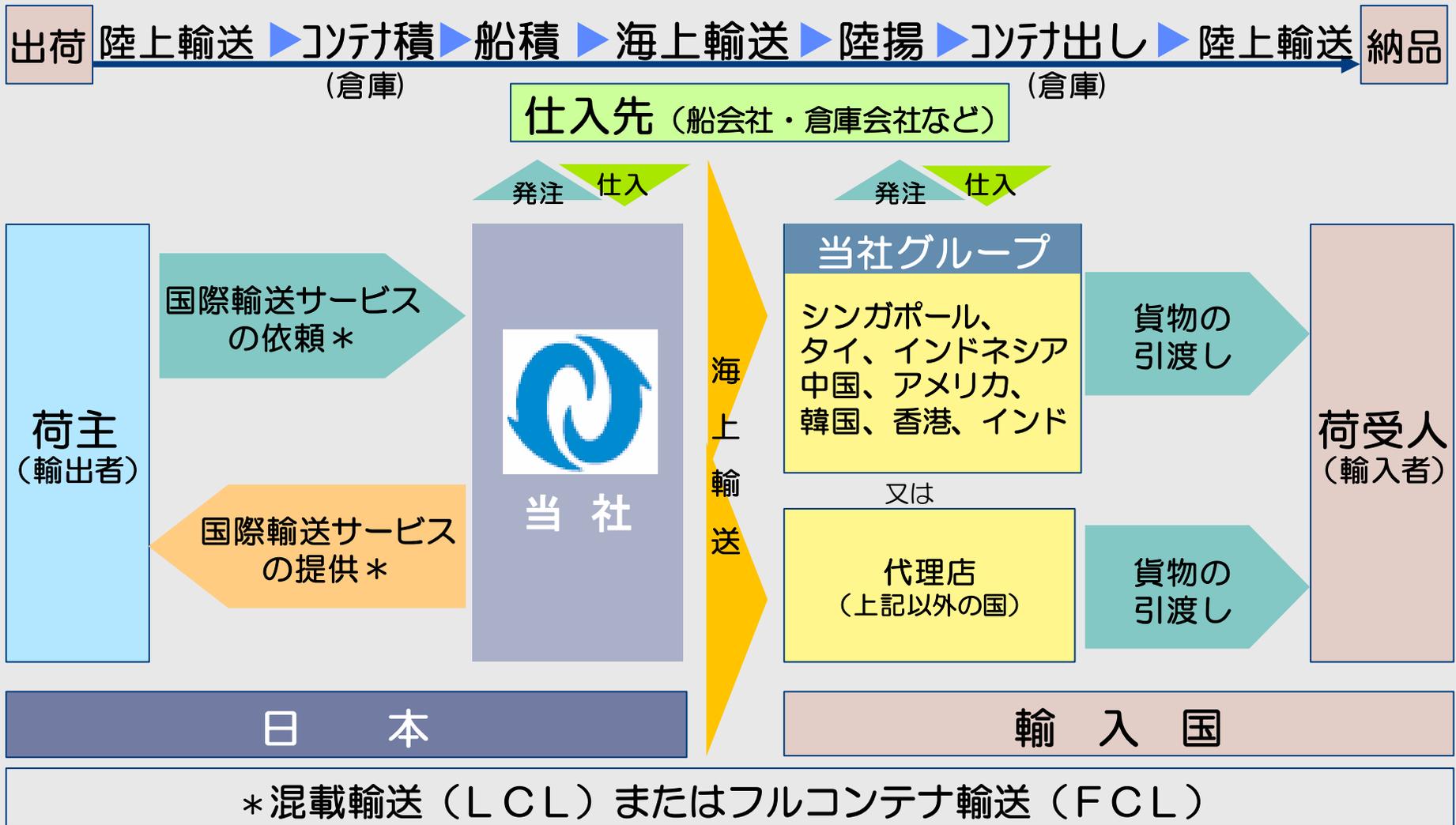
輸出混載が売上の58%、売上総利益の71%



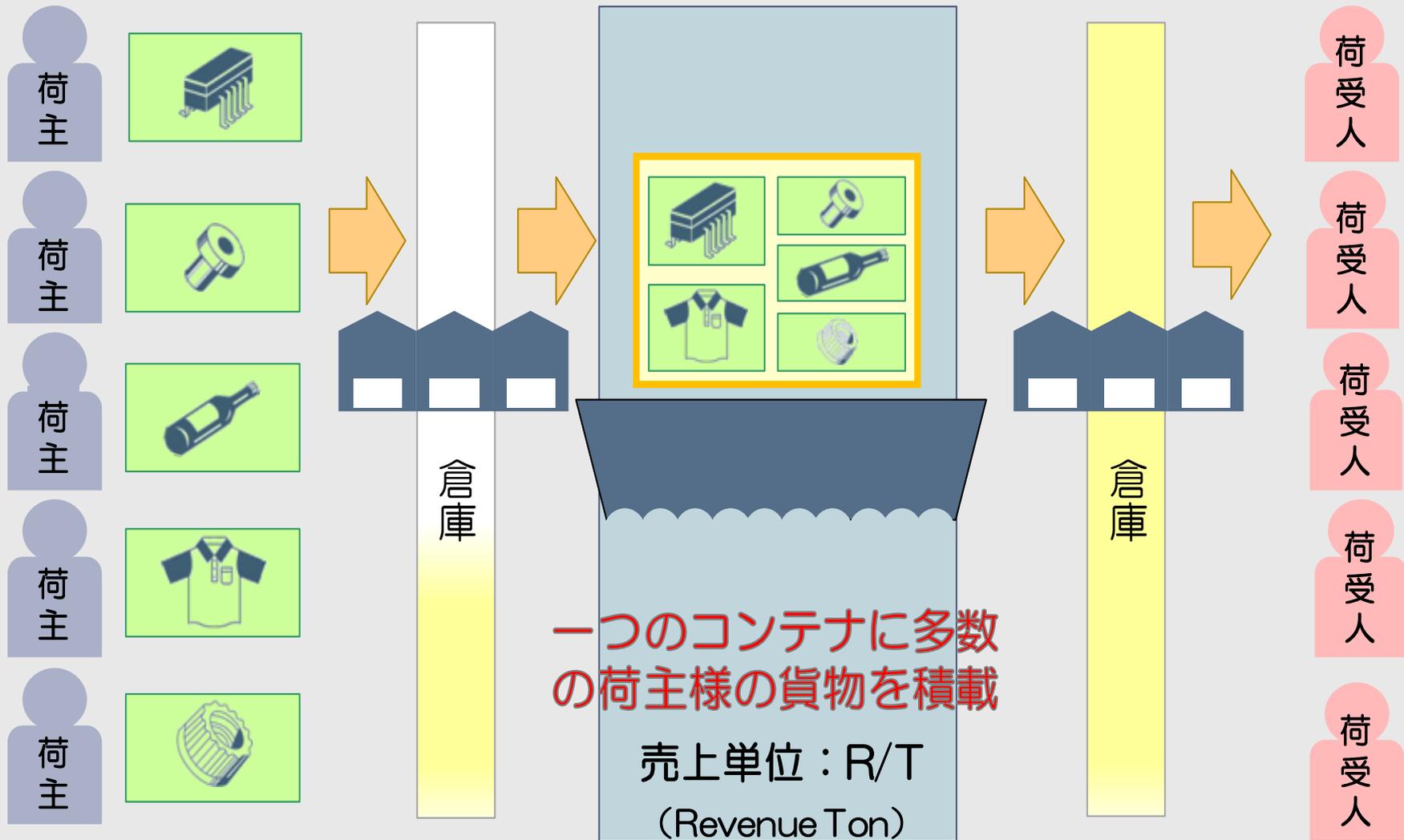
(単位:百万円)

■ 輸出混載 ■ 輸出フルコンテナ ■ 輸入混載 ■ 輸入フルコンテナ

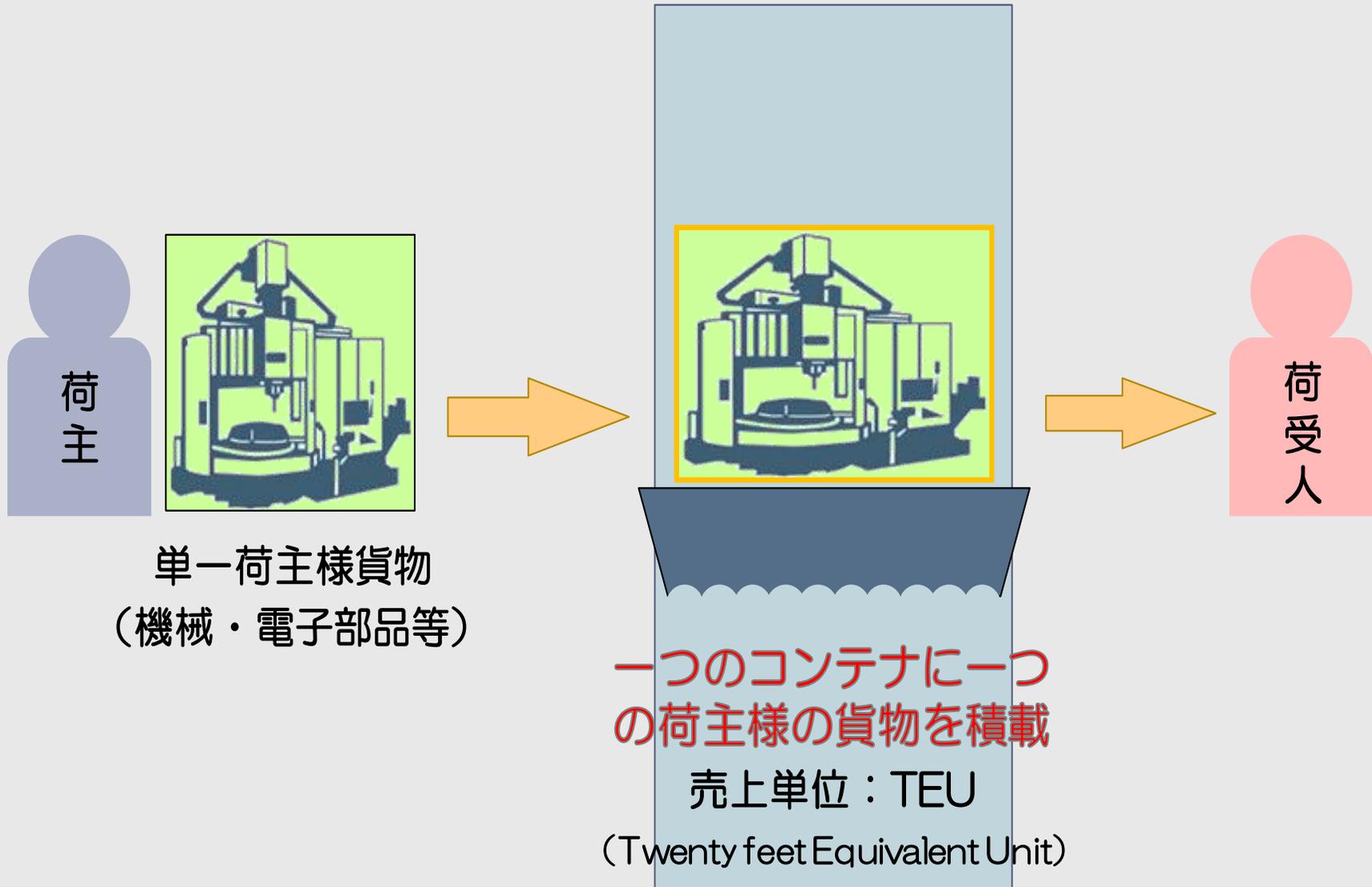
輸出業務の流れ



混載輸送

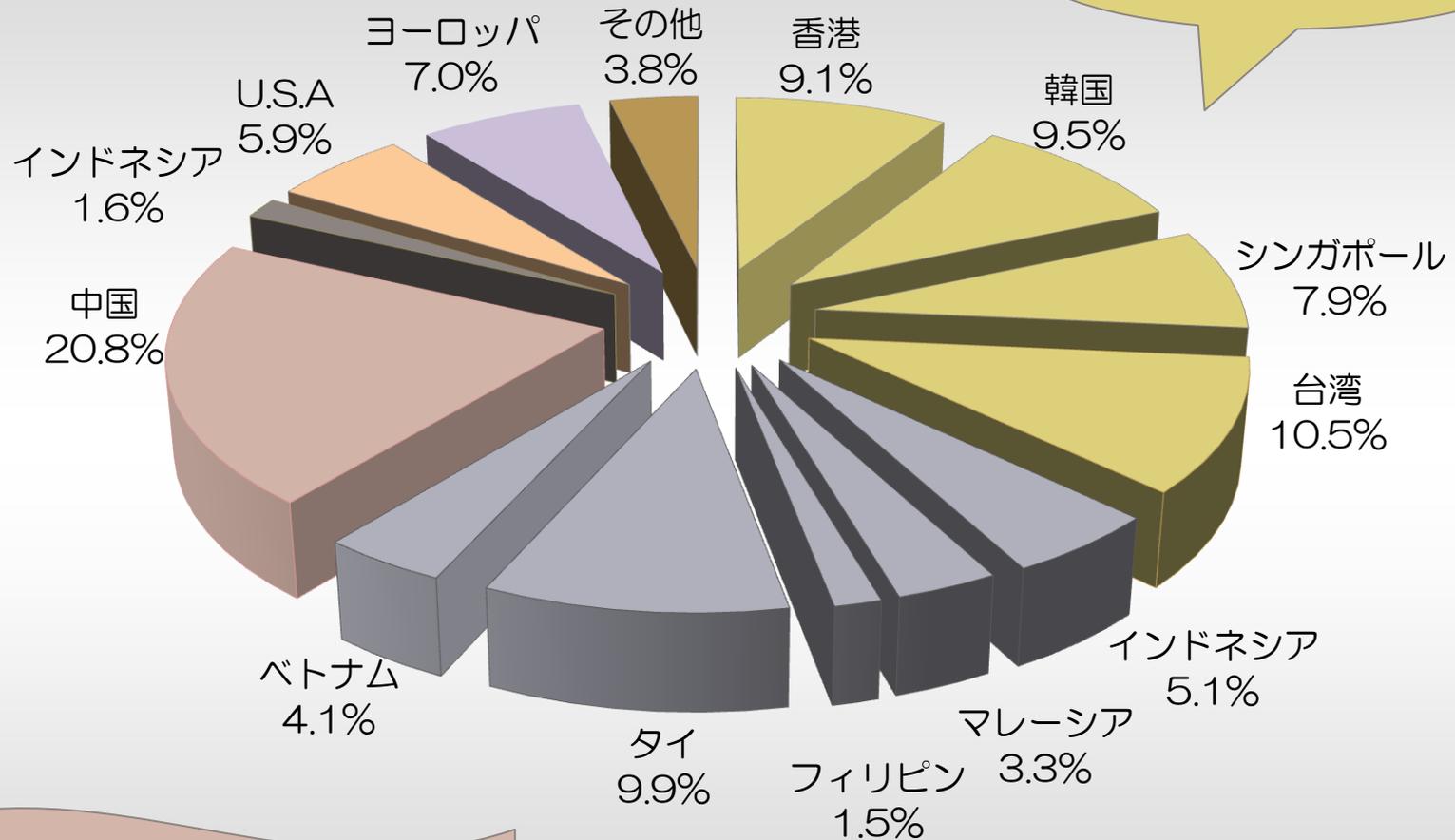


フルコンテナ輸送



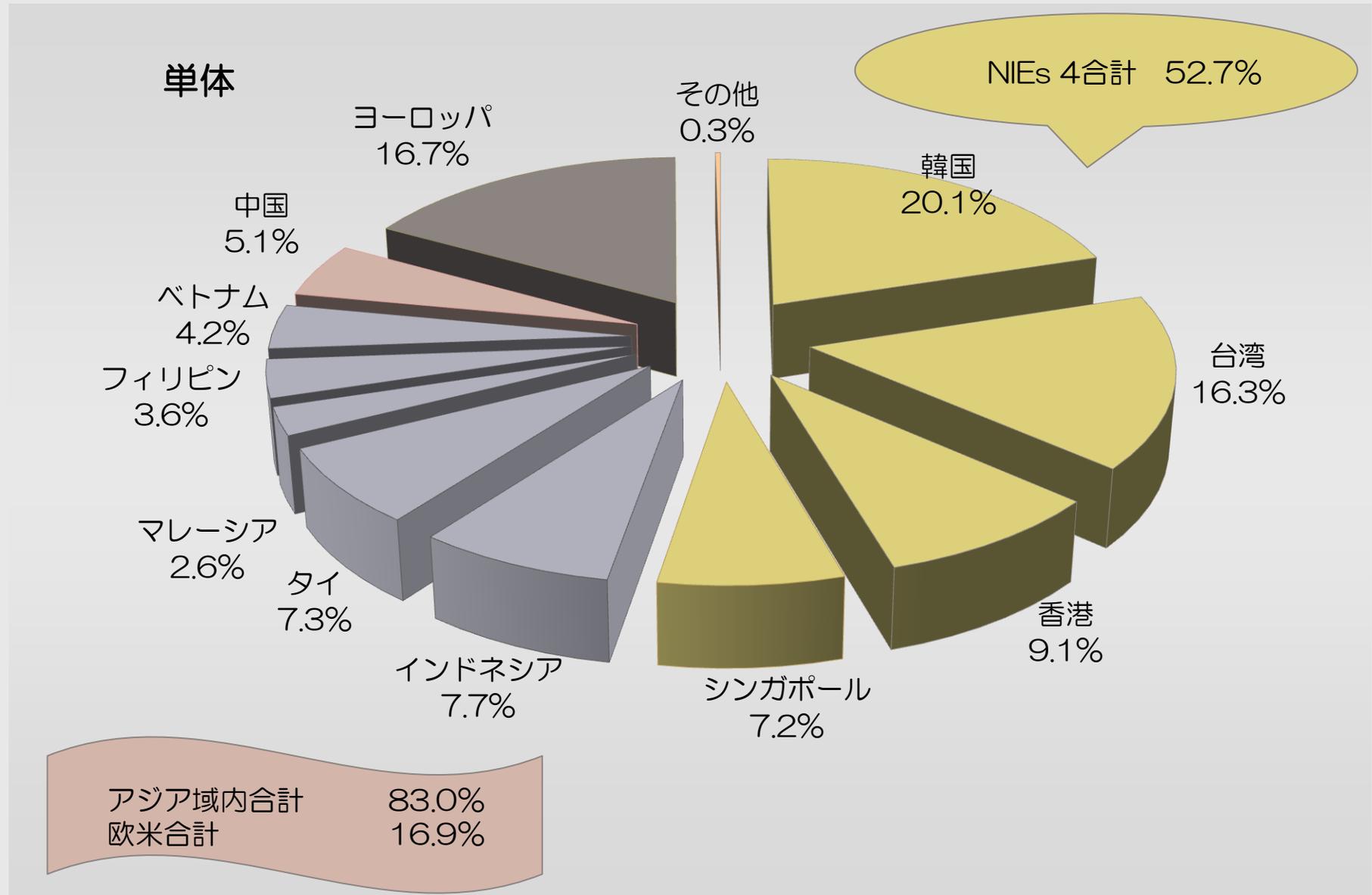
当社輸出混載の仕向地(2011年度)

単体



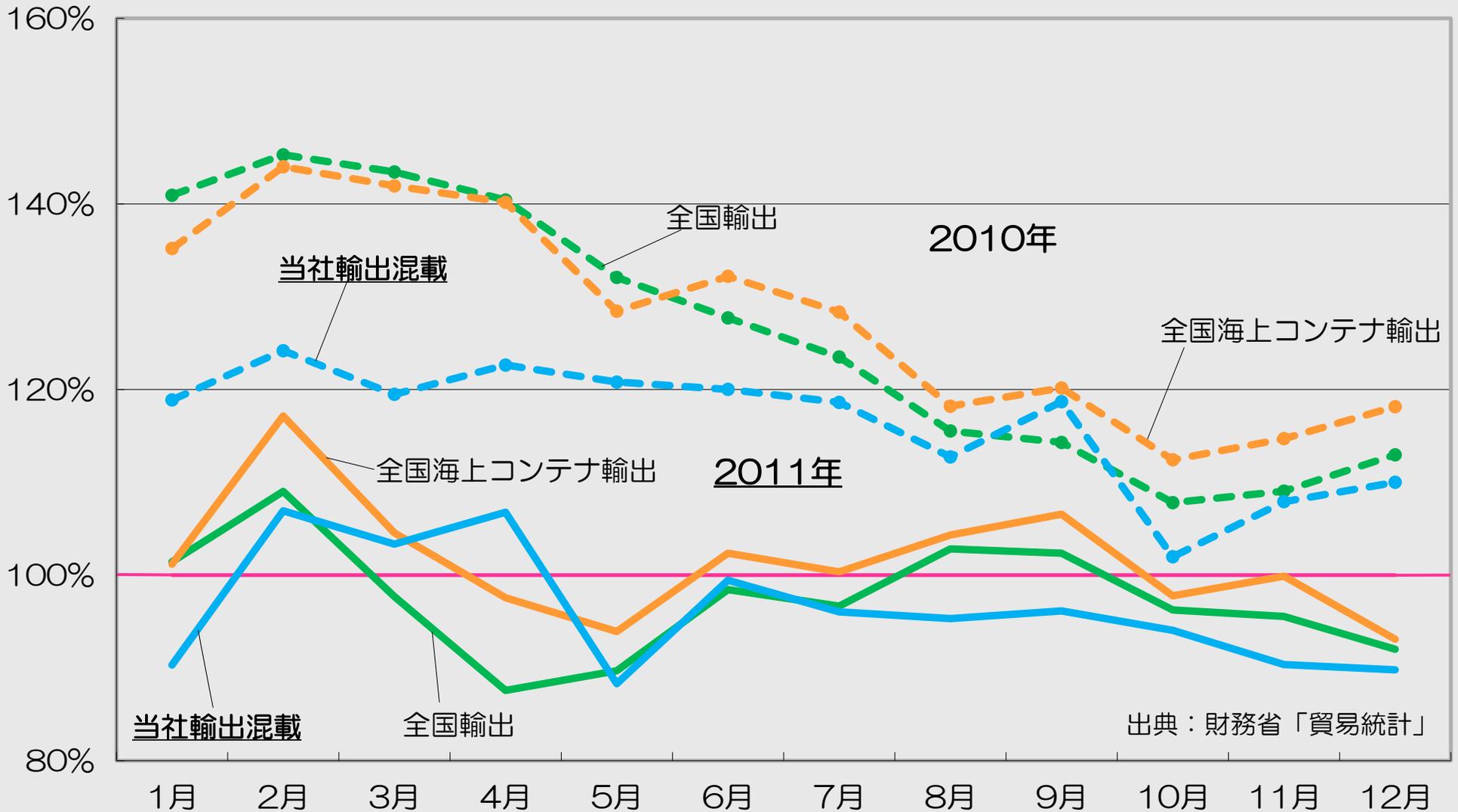
アジア域内合計 83.4%
欧米合計 12.8%

当社輸入混載の積地別内訳(2011年度)



輸出統計指数と当社取扱数量の状況

輸出の月次推移状況（対前年同月比伸び率）



当社事業の特長

(空運)



海 運



(陸運)



当社は独立系、ノン・アセットの運輸事業者です

NVOCC

国際海上輸送に特化している

船舶・コンテナは保有していない

輸出混載輸送が主要事業

輸出混載輸送で国内有数の高シェア

世界へ向けての豊富な運航スケジュール

他社に優る高品質サービス

Ⅲ. 当社の強み



1. 当社の強みとその効果
2. 当社が支持される理由

当社の強みとその効果

強み

資産を持たない経営

系列に属さない独立経営

世界各地に現法を配置
(8カ国・9社)

輸出を主力としている

アジア市場向けを主力としている

効果

・ 高い収益構造

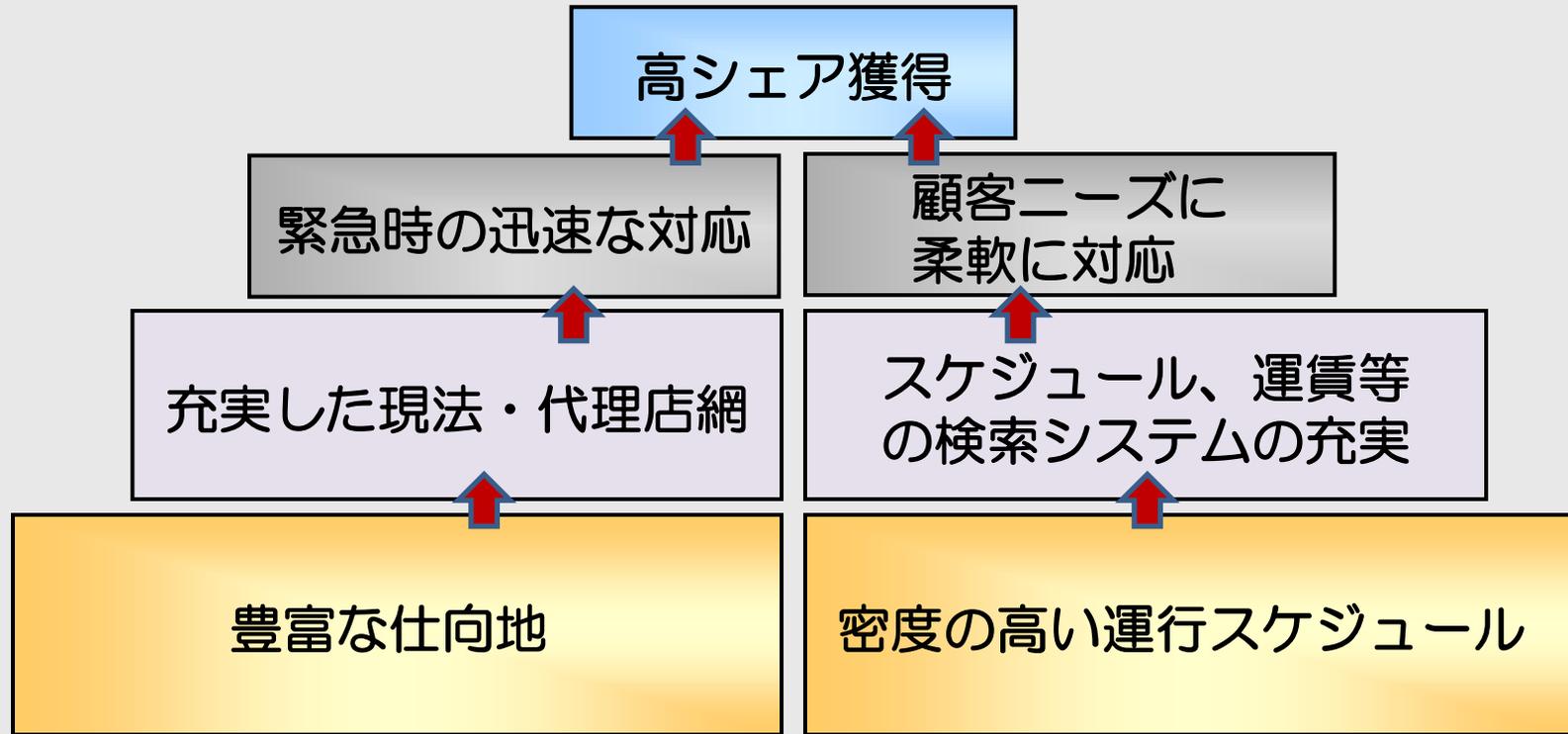
・ 主要船社の世界航路を柔軟に利用
・ 船社、倉庫のブランド力による
お客様の安心

・ キメの細かなサービスでお客様の
ニーズにマッチ

・ 収益性が高い

・ 他地域に比べ高い成長性

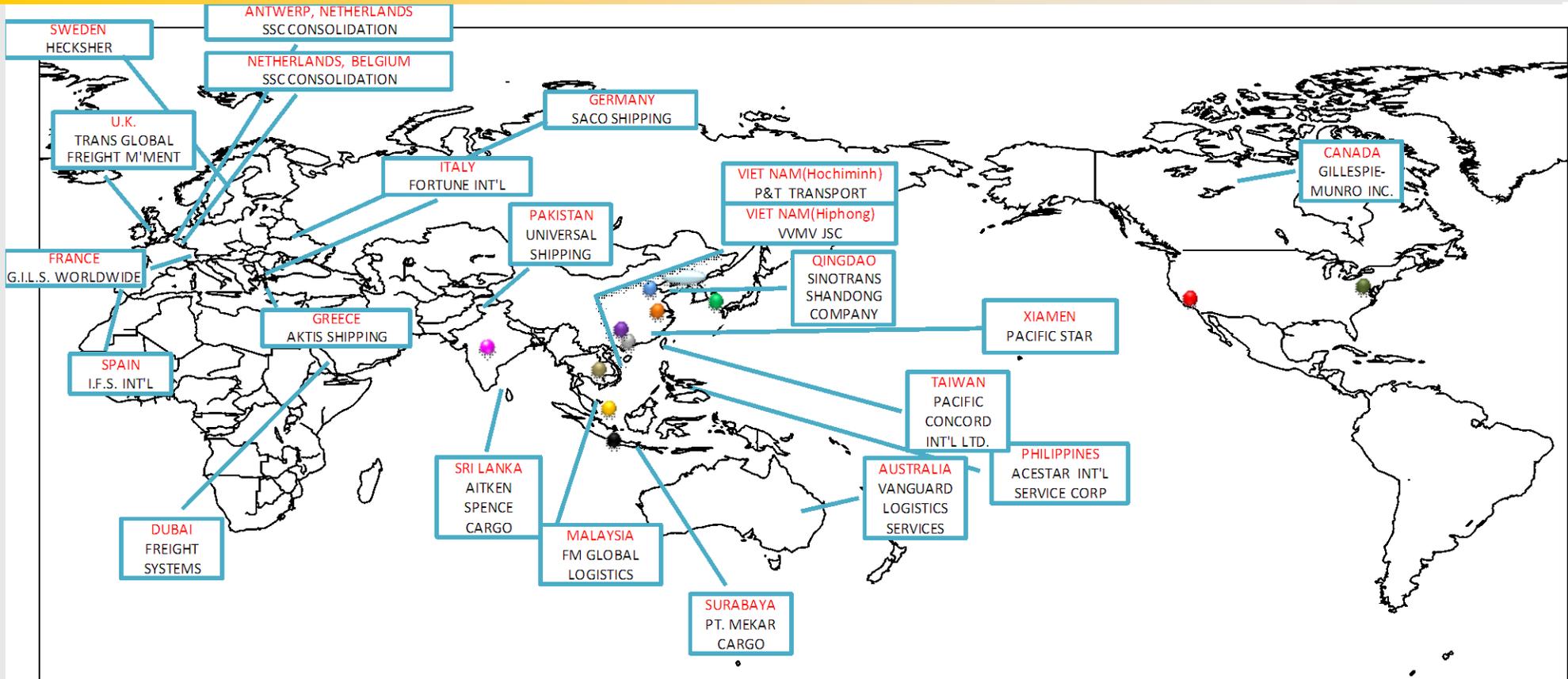
当社がお客様に支持される理由（わけ）



NTL GROUP

豊富な仕向け地と密な運航スケジュール

充実の現法・代理店網による高品質サービス



OWN OFFICE

- | | | | | | |
|--|-----------|--|-----------|--|--------------------|
| | SINGAPORE | | SHANGHAI | | KOREA |
| | BANGKOK | | TIANJIN | | LOS ANGELES |
| | JAKARTA | | DALIAN | | NEW YORK(CARGOONE) |
| | HONG KONG | | GUANGZHOU | | INDIA |

“日本の主要港” から “世界の主要港” へ向けて

日本の主要11港から世界各国に向け、
豊富な運航スケジュール

当社現法と代理店ネットワーク

海外現地法人

9現法・19拠点

- ・ 中国 (4拠点)
- ・ 韓国 (2拠点)
- ・ インドネシア
- ・ 米国 (LA)
- ・ インド (7拠点)
- ・ 香港
- ・ シンガポール
- ・ タイ
- ・ 米国 (NY)



海外代理店

20カ国
(22 代理店)

アジア 8カ国

中国、インドネシア、マレーシア、フィリピン、
パキスタン、スリランカ、台湾、ベトナム

欧州 9カ国

オランダ、フランス、ベルギー、ドイツ、イタリア、
ギリシャ、英国、スペイン、スウェーデン

その他 3カ国

カナダ・豪州・UAE

LOGISTICS PLUS INDIA社の買収

現社名 NTL LOGISTICS PLUS INDIA

会社概要

- ・ 本 社 インド ニューデリー
- ・ 事業所 ムンバイ・チェンナイ・セーラム・
コルカタ・バンガロール・ハイデラバード
- ・ 資本金 965千インドルピ° - (当社80%出資)
- ・ 事業内容 国際、国内物流業

買収の狙い

- ・ 西アジアへの当社初の拠点設置により、東南アジアと欧州をつなぐグローバルネットワーク確立の新拠点とする

具体的戦略

- ・ シンガポール自営倉庫の活用による東南アジア
⇒ 西アジアラインの確立と欧州への中継拠点化
- ・ 成長市場インドにおける多角化事業展開

2011年1月より連結子会社に

IV. 業績の推移



1. 連結業績の推移
2. 連結売上高と営業利益の推移
3. 連結財政状態の推移

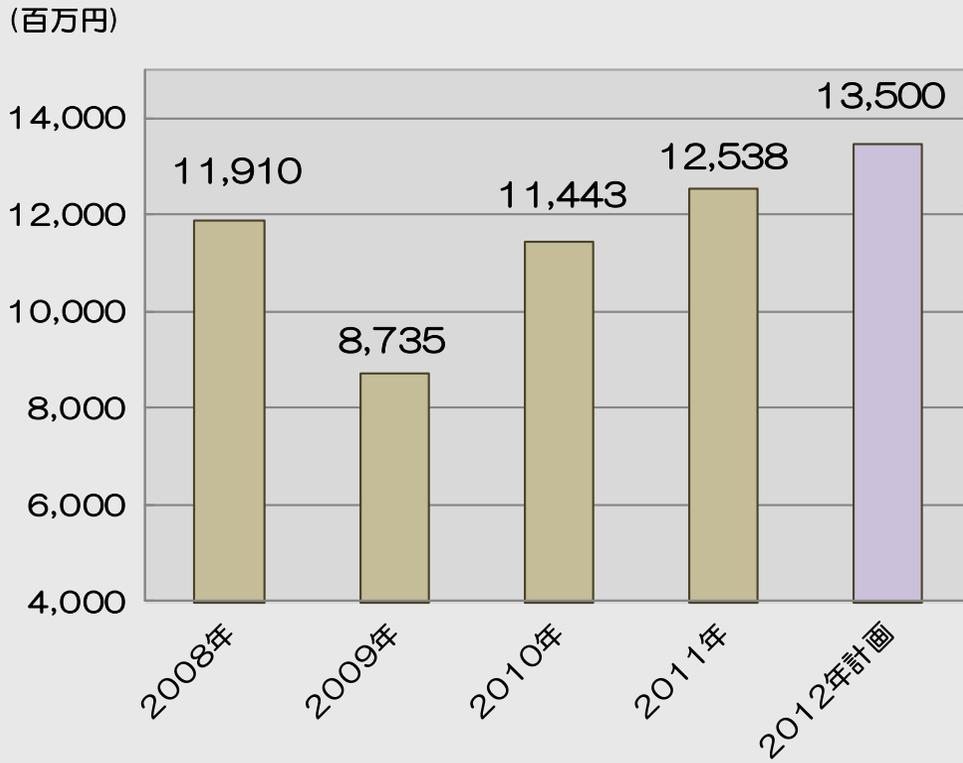
連結業績の推移

期別連結実績

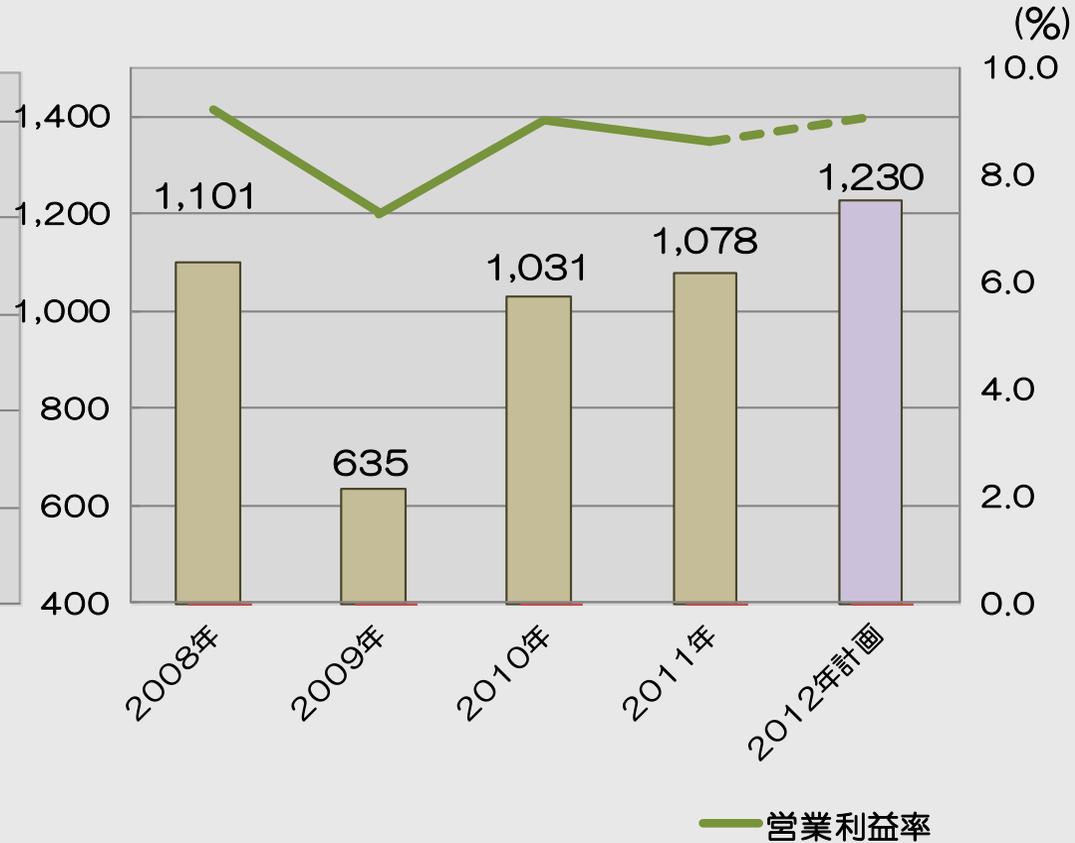
単位：百万円	2009/12	2010/12	2011/12	2010年比	2012計画
売上高	8,735	11,443	12,538	109.6%	13,500
売上総利益	3,211	3,709	3,981	107.3%	4,200
営業利益	635	1,031	1,078	104.6%	1,230
経常利益	808	1,036	1,046	100.9%	1,230
当期純利益	396	652	568	87.1%	780
一株当たり 当期純利益(円)	161.97	265.26	218.32	—	299.57

連結売上高と営業利益の推移

売上高



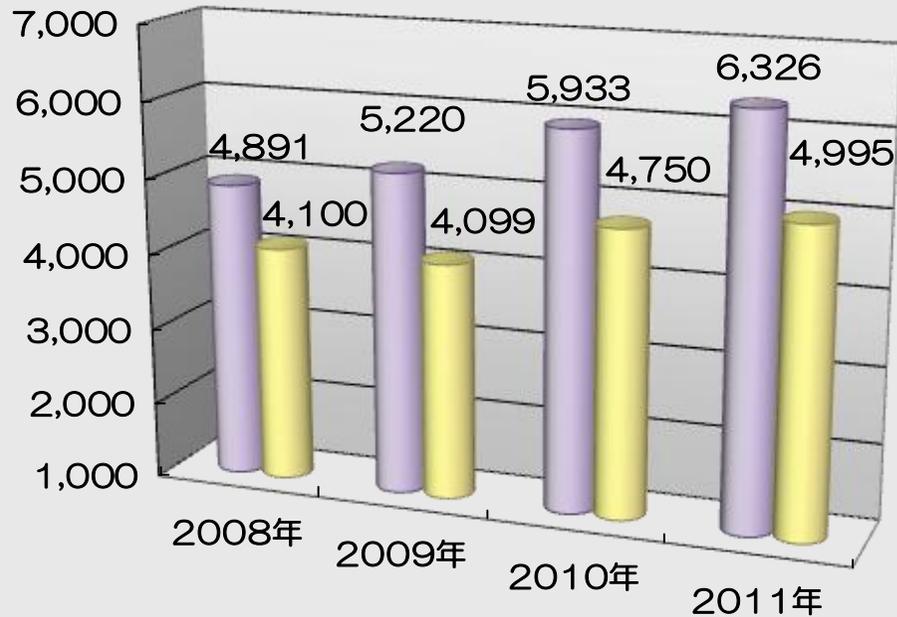
営業利益



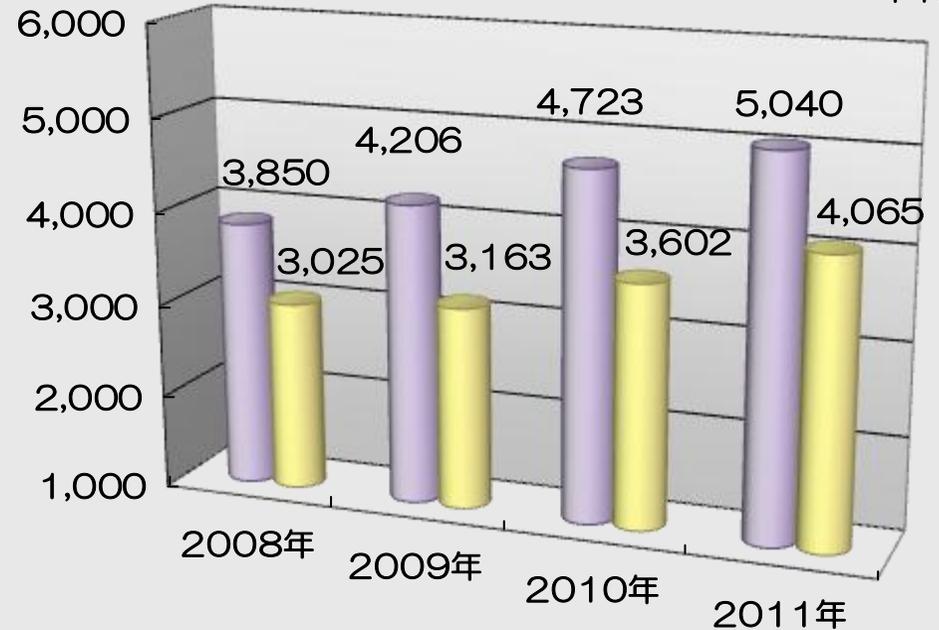
連結財政状態の推移

連結総資産及び純資産

総資産



純資産



健全な財務体質

- 高い自己資本率 '09 80.0% '10 79.2% '11 79.0%
- 少ない有利子負債 — — 209百万円 (LPI)

2011~2013

V. 中期経営計画の概要と進捗

NTL Next Stage

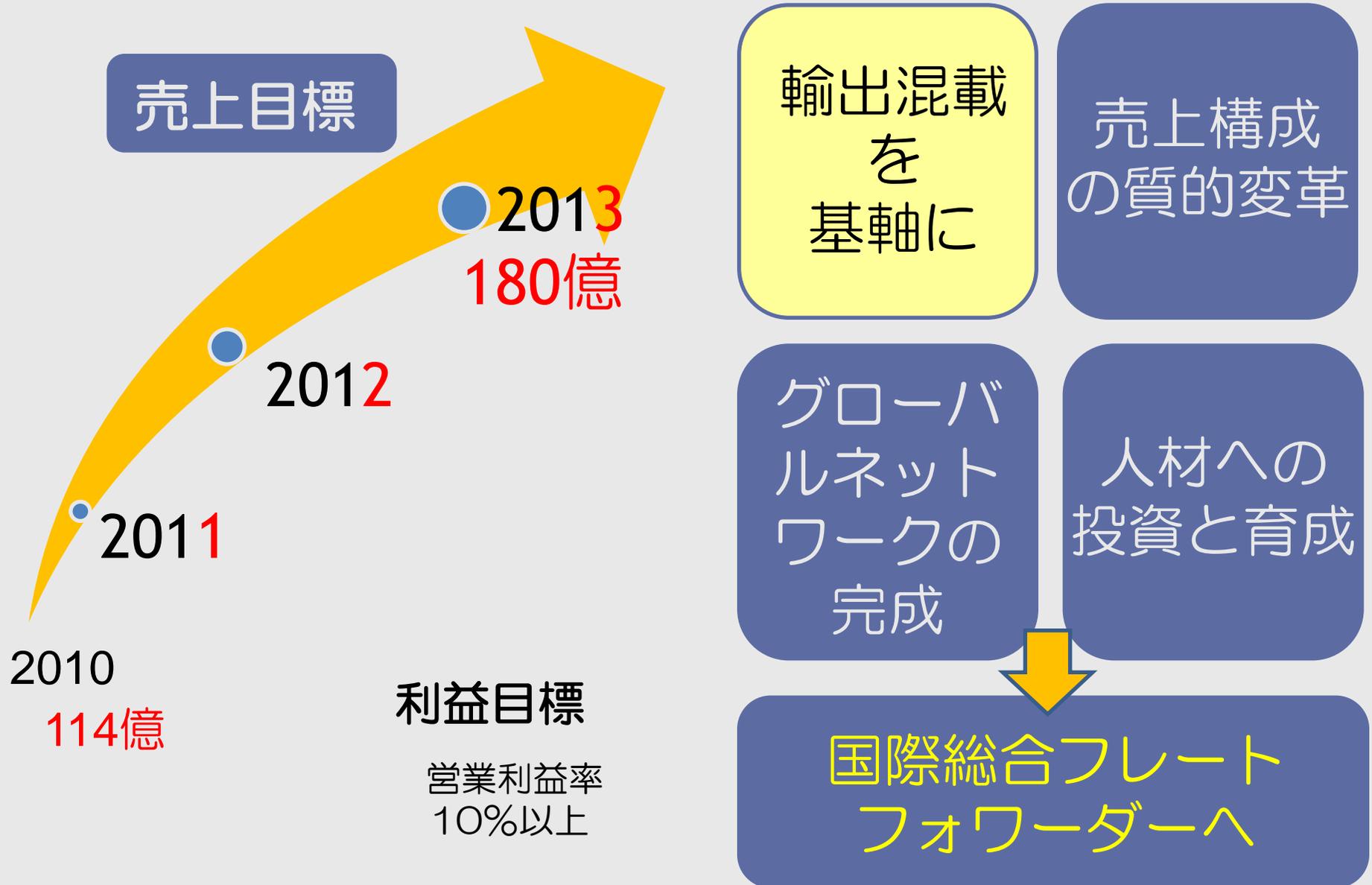
—アジアから世界へ—



私たちがめざす3年後の“内外トランスライングループ”

1. 基本方針
2. 定量目標

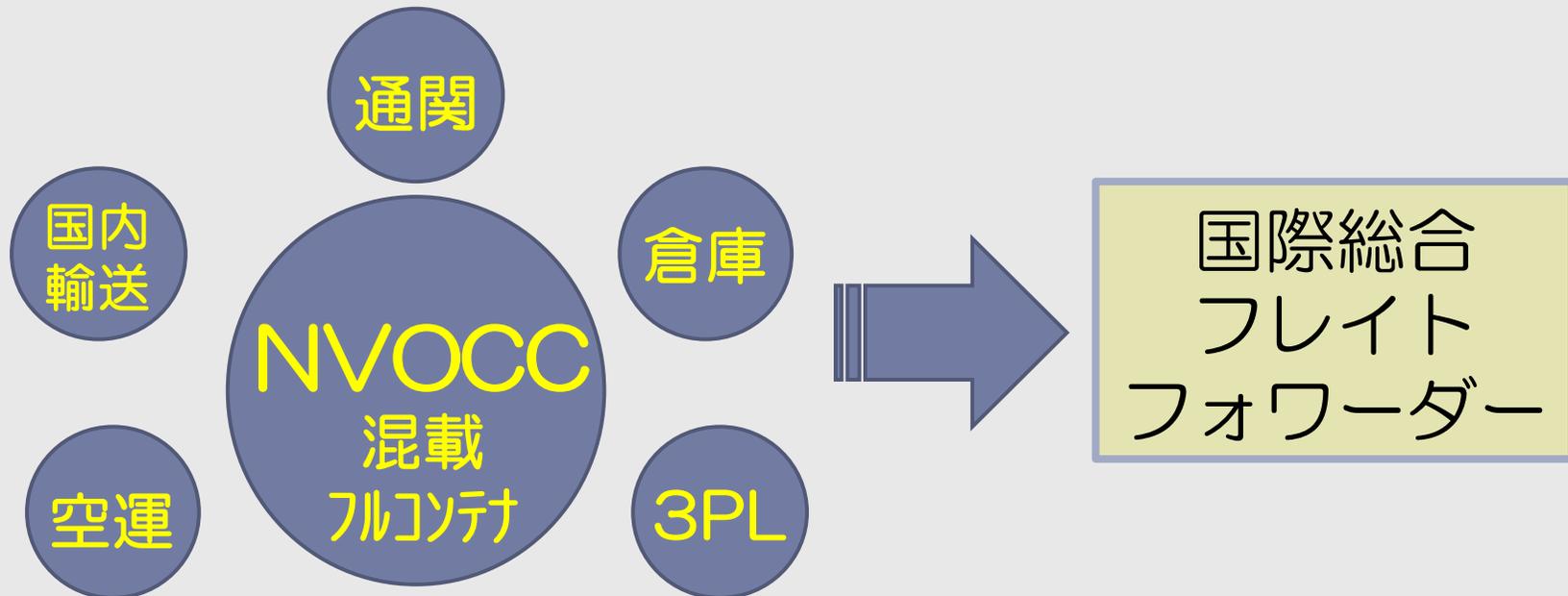
中期経営計画【基本方針】サマリー



中期経営計画の基本方針

私たちがめざす3年後の“内外トランスライングループ”

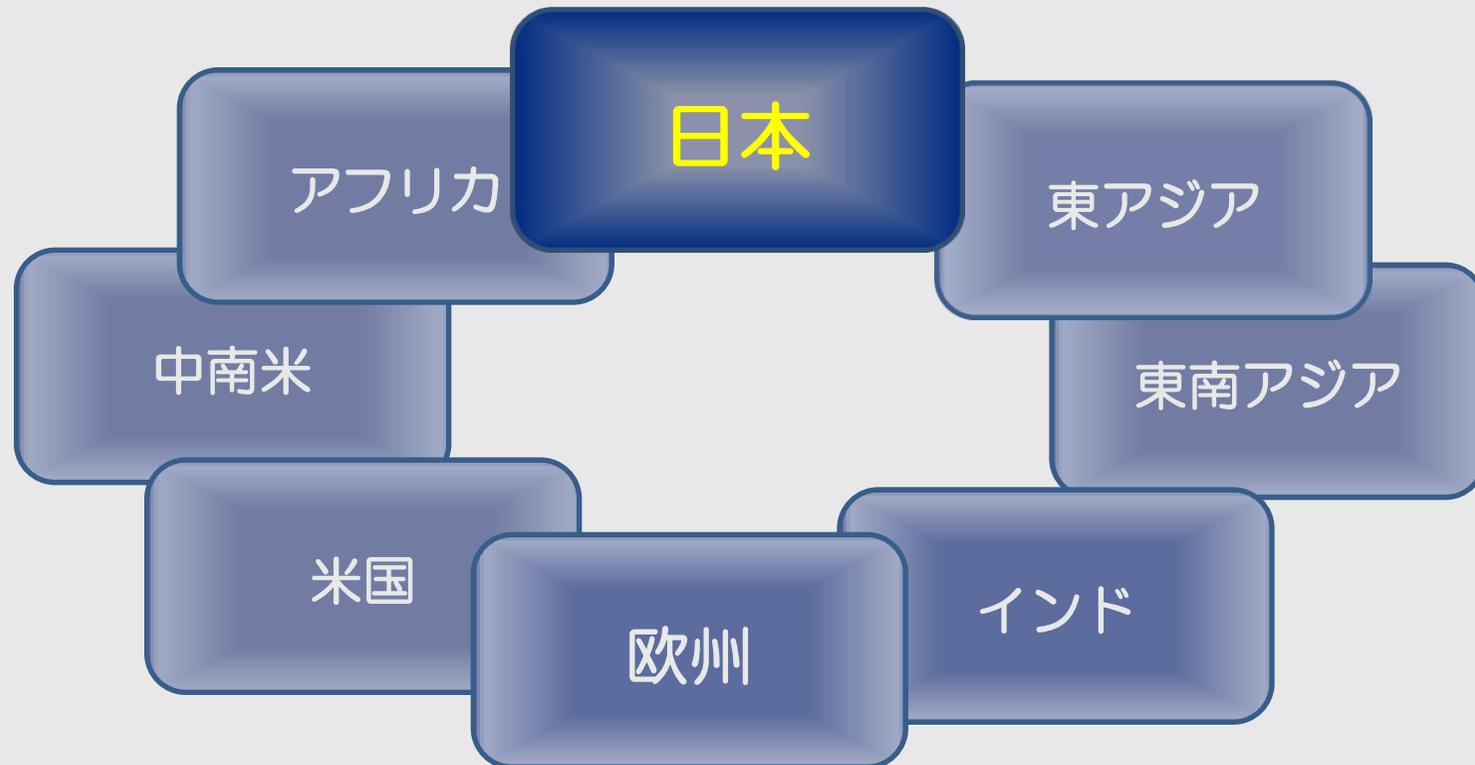
- 1 輸出混載サービスを基軸としながら、さらに幅広いフォワーディングサービスを展開し、**国際総合フレイトフォワード**となっている。



中期経営計画の基本方針

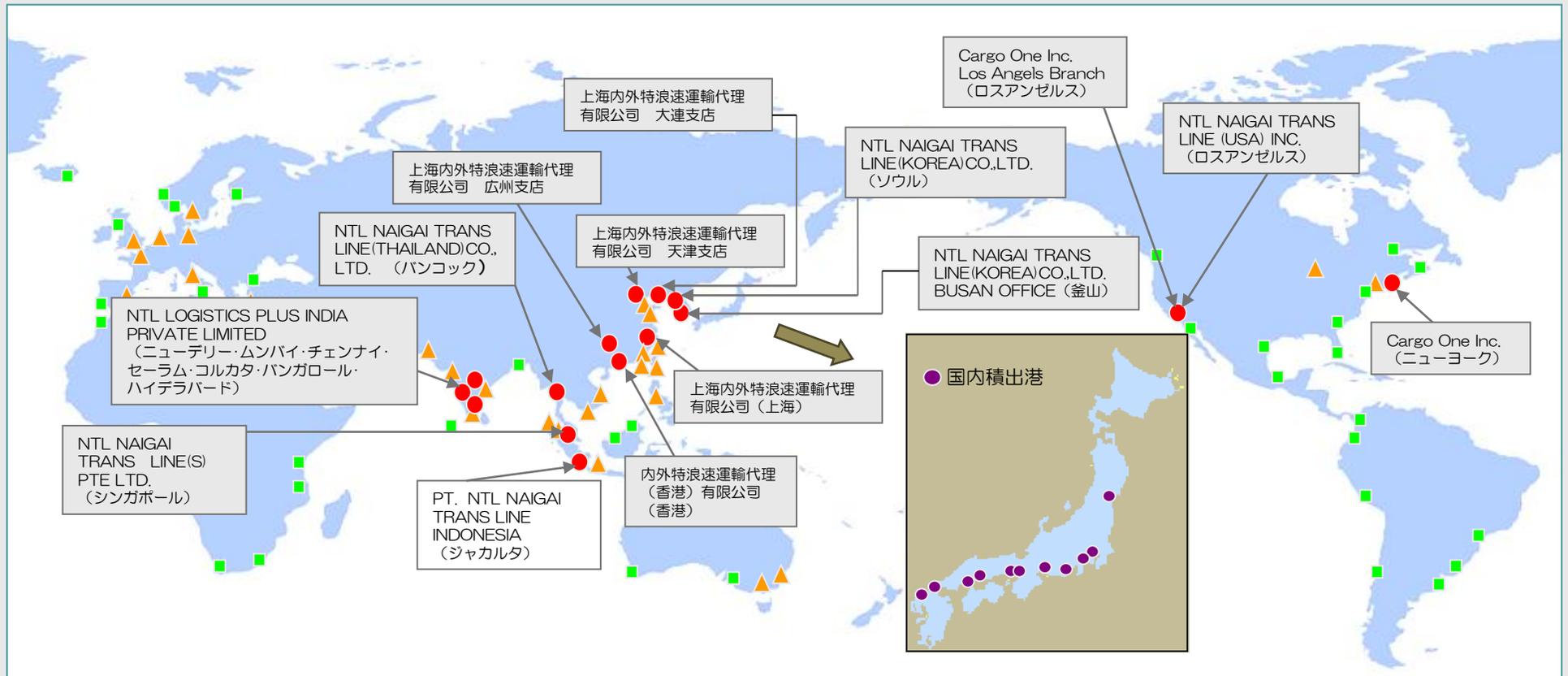
私たちがめざす3年後の“内外トランスライングループ

- 2 海外拠点を拡大し展開し、インド、欧州に新拠点を築き、点から線へとつながった**グローバルネットワークの完成**をめざす。



世界をつなぐ当社ネットワーク

グローバルネットワークのさらなる充実



日本の主要11港から世界の主要港に向けての豊富な運航スケジュールと、当社現地法人と世界の有力代理店によるネットワークを今後さらに充実し万全の高品質サービスを提供いたします。

- 当社現地法人 (直行便開設)
- ▲ 代理店 (直行便開設先)
- その他の主な代理店

中期経営計画の基本方針

私たちがめざす3年後の“内外トランスライングループ

3 人材への投資を積極的に行い、中長期的なビジョンに立って、計画的な人材の育成をはかり、海外をも含めた適材配置を実施する。

◆ 人材の増強、育成、適材配置の徹底実施

◆ 海外適性要員を育成し海外拠点へ投入

◆ 新人事制度の実施と整備、拡充

中期経営計画定量目標

売上高

単位：百万円



■売上高/単体 ■売上高/連結

営業利益



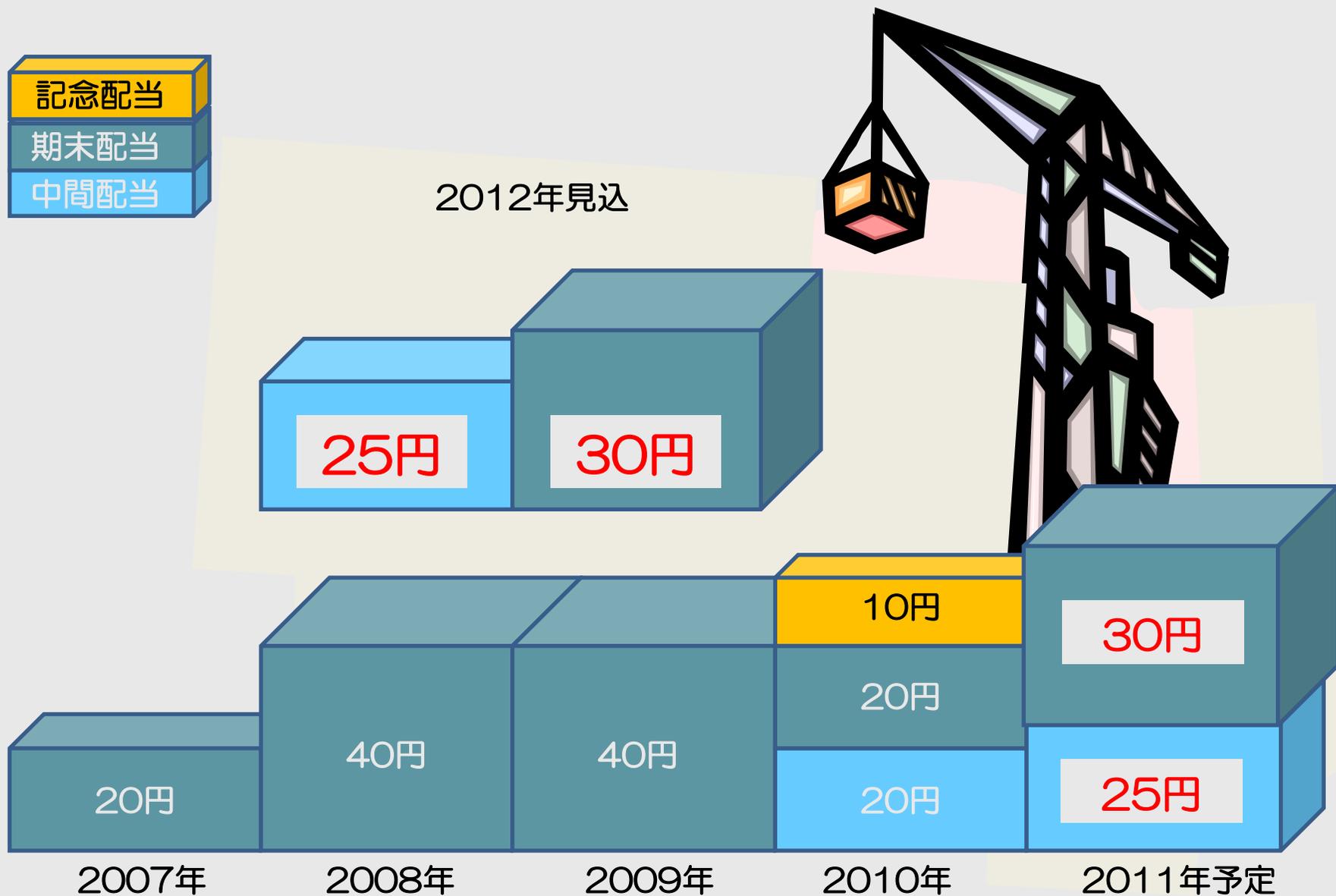
■営業利益/単体 ■営業利益/連結

VI. 株主還元と株価の推移



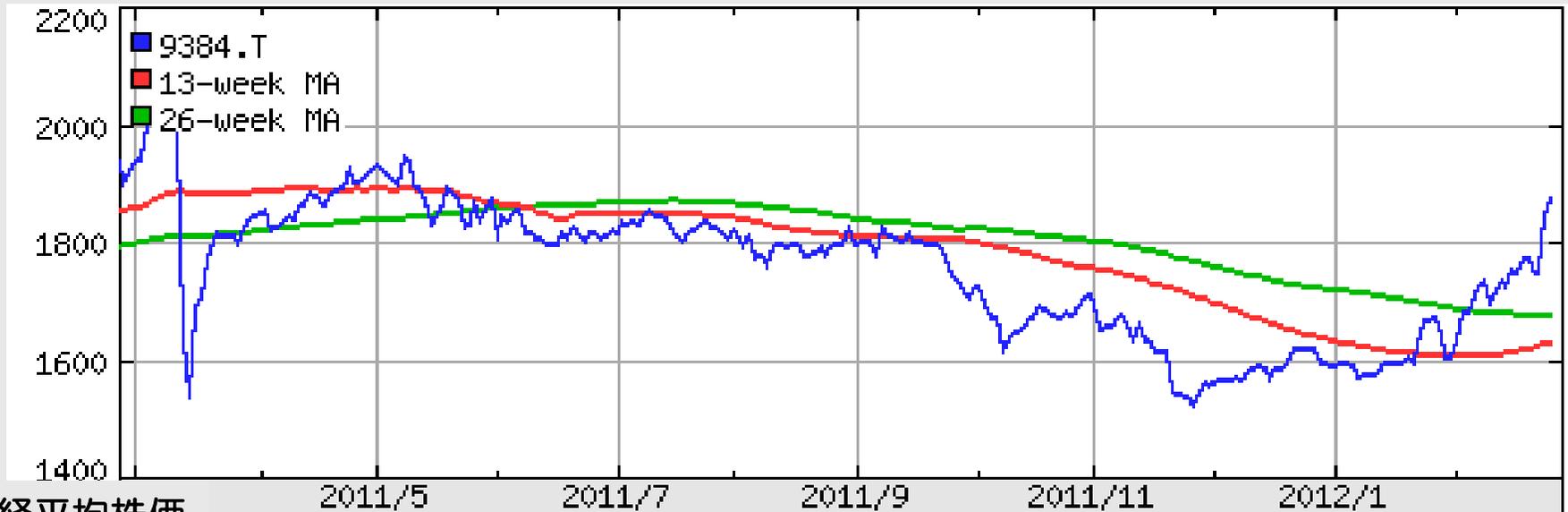
1. 配当金の推移
2. 株価の推移

配当金の推移と当期配当方針

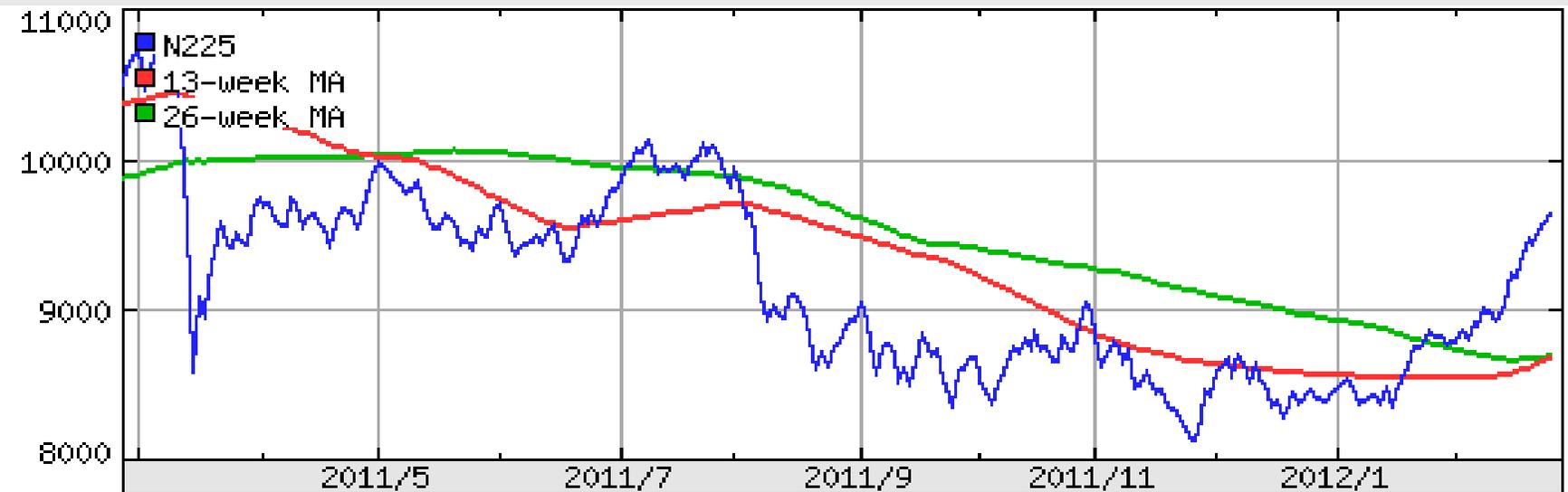


株価の推移

当社株価



日経平均株価



本日のまとめ

1. 当社の強み

- ・ノン・アセットの効率経営
- ・堅調に成長を続けるアジアが主力
- ・世界に向けた豊富な航路数と高品質サービス
- ・安定した業績と健全な財務体質

2. 経営目標

- ・中期経営計画に基づく諸施策の実行により売上と利益の成長をはかる
- ・グローバルネットワークを確立し、世界の有力国際総合フレートフォワードラーをめざす

3. 株主還元

- ・「株主への還元」は当社重要施策
- ・当期は前期配当を維持の予定
- ・収益力を強化し配当性向の向上をめざす

ご清聴ありがとうございました



内外トランスライン株式会社
NAIGAI TRANS LINES

連絡先

取締役経営企画部長 三根 英樹

TEL 06-6260-4800

FAX 06-6260-4719

URL <http://www.ntl-naigai.co.jp>

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは既に具体化している事実を除き、本資料の作成時点で取得可能な情報に基づくものであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。そのため、実際の業績などは本資料に記載の見通しや予想とは異なる結果となる可能性があり、その内容を保証するものではありません。